

令和5年度（2023年度）日本肺高血圧・肺循環学会第1回理事会 議事録

日時：2023年6月2日（金） 15:30-17:10

場所：神戸国際会議場 4階 404

出席理事：江本 憲昭 片岡 雅晴 大郷 剛 小垣 滋豊 近藤 康博 鈴木 拓児 田中 住明
田村 雄一 辻野 一三 土井 庄三郎 福田 恵一 福本 義弘 室原 豊明 安岡 秀剛
山岸 敬幸 渡邊 裕司 （計16名）

第10回学術集会会長：田邊 信宏

出席監事：瀧原 圭子

欠席理事：桑名 正隆 伊藤 浩 荻野 均 伊達 洋至 安田 聡 （計5名）（敬称略）

配布資料

資料1：前回の理事会 2022年3月31日第4回理事会議事録（理事会用）

資料2：会員数推移について

資料3：2022年度学会会計報告について

資料4：学会奨励賞（ヤンセンファーマ寄附金）会計報告について

資料5：学会賞受賞者について

資料6：PH定義変更に伴うPH診断に関するステートメントについて

資料7：若手研究者向け臨床研究海外留学支援プログラムの立ち上げについて

1. 開会

2. 前回議事録の確認（渡邊理事長）

2023年3月31日に開催された2022年度第4回理事会議事録を配布した。

3. 報告事項

①第8回学術集会の準備状況について（江本憲昭会長）

2023年6月3日（土）～4日（日）

会 長：江本 憲昭（神戸薬科大学 臨床薬学研究室/

神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学分野）

副会長：田邊 信宏（千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター/

千葉大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学）

三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

新家 俊郎（昭和大学 医学部内科学講座 循環器内科学部門）

吉藤 元（京都大学大学院医学研究科 内科学講座臨床免疫学）

会 場：神戸国際会議場

事務局：神戸薬科大学 臨床薬学研究室

・参加登録者数は昨年と同じくらいになる予定。

②第9回学術集会の準備状況について（福本義弘会長）

2024年8月9日（金）～10日（土）

会 長：福本 義弘（久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科部門）

副会長：塩瀬 明（九州大学大学院医学研究院 循環器外科学）

田中 良哉（産業医科大学医学部第1内科学）

山岸 敬幸（慶應義塾大学医学部小児科）

会 場：久留米シティプラザ

事務局：田原 宣広（久留米大学病院 循環器病センター）

2024年の欧州リウマチ学会が、6月12-15日で開催されることが決まった。

本学術集会は当初2024年6月14日-15日を予定していたが、欧州リウマチ学会の日程と結果的に重複してしまった。2年連続して、膠原病の先生方が欠席されるのは問題だと考え、会場の空き状況を確認し、候補日の中から理事のご都合を伺い8月9日（金）10日（土）の日程に変更した。

③第10回学術集会の準備状況について（田邊信宏会長）

2025年6月14日（土）～15日（日）

会 長：田邊 信宏（千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター）

副会長 田村 雄一（国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧症センター）

会 場：京王プラザホテル（新宿）

事務局：千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学

欧州リウマチ学会と同じ時期にすでにホテルを押さえてしまっているが、都内の会場予約の変更は難しいと思われる。副会長に小児科やリウマチ科の先生にも入っていただきたいと考えている。

④会員数推移について（渡邊理事長）

日本肺高血圧・肺循環学会（2023年3月31日）

会員内訳

	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016
会員（医師）	582	544	496	432	411	357	322
会員（医師以外）	59	52	43	30	25	19	12
休会	10	5	4	5	4	3	—
功労会員	11	—	—	—	—	—	—
在籍合計	662	601	543	467	440	379	334

入会・退会動向

	2022年度			2021年度			2020年度			2019年度			2018年度			2017年度			2016年度
	新規	退会	休会	新規	退会	休会	新規	退会	休会	新規	退会	休会	新規	退会	休会	新規	退会	休会	
会員（医師）	73	24	10	55	16	5	75	11	4	35	14	5	62	8	4	42	7	3	322
会員（医師以外）	11	4	0	11	2	0	13	0	0	5	0	0	6	0	0	8	1	0	12
合計	84	28	10	66	18	5	88	11	4	40	14	5	68	8	4	50	8	3	334

会員は2016年から2倍近くに増えて毎年増加傾向にある。

⑤2022 年度会計報告について（福本義弘理事）

日本肺高血圧・肺循環学会 2022年度会計報告 (2022.4.1～2023.3.31)			
収入の部		支出の部	
a. 年会費	6,041,000	a. 事務局経費	1,941,682
b. 前年度繰越金	48,129,601	会議費	0
(故八巻重雄先生ご寄付 残額5,000,000円を含む)		運営費（会員管理・会費請求業務）	1,600,403
		(メール配信・HP修正)	169,640
		消耗品費	157,944
		雑費	13,695
c. 第3回日本肺循環学会・第4回日本肺高血圧学会 合同学術集会余剰金	563,561	b. 八巻賞・2022年賞金	500,000
d. 第7回学術会議余剰金	2,884,534	c. Jamieson CTEPH award・2022年賞金	300,000
e. バーナー広告	110,000	d. ガイドライン作成・発送	1,026,278
f. 利息	403	e. 次年度繰越金	53,961,139
		(故八巻重雄先生ご寄付 残額 4,500,000円を含む)	
計	57,729,099	計	57,729,099

2022年度 日本肺高血圧・肺循環学会 「学会奨励賞」会計報告

日本肺高血圧・肺循環学会
理事長 渡邊 裕司

以下のとおり会計報告する。

収入	項目	金額
	運営資金	4,300,000
	計	4,300,000

支出	項目	金額
	学会奨励賞（臨床研究賞）3 名賞金	1,500,000
	学会奨励賞（基礎研究賞）3 名賞金	1,500,000
	運営費：選考委員会（延 18 名）運営/会議費	900,000
	：選考委員会 運営/会議費 振込手数料	9,240
	：通信費、学会ホームページ管理/更新費、 事務用品費、賞状作成費	390,760
	計	4,300,000

⑥学会賞受賞者について

2023 年度 学会賞応募者は 2023 年 3 月 31 日の締切日までに以下の応募数があった。

応募者：八巻賞 3 名 Jamieson CTEPH award 5 名
学会奨励賞臨床研究賞 13 名 学会奨励賞基礎研究賞 11 名

各選考委員会の厳選な審査の結果、以下の受賞者が決定した。

2023 年度「八巻賞」受賞者 1 名

氏名：澤田 博文

所属：三重大学医学部附属病院小児科

題目：肺高血圧動物モデルを用いた肺血管病変形成機序の解明ならびに小児肺高血圧診断における学校心電図検診の役割

八巻賞委員会：

選考委員長

安田 聡（東北大学医学部 循環器内科）

選考委員（順不同）

福本 義弘（久留米大学循環器内科）

杉村 宏一郎（国際医療福祉大学 成田病院 循環器内科）

桑名 正隆（日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー・膠原病内科学）

荻野 均（東京医科大学 心臓血管外科）

2023 年度「Jamieson CTEPH award」受賞者 1 名

最優秀賞

石田 敬一

所属：東千葉メディカルセンター 心臓血管外科（2023 年 3 月まで）

済生会習志野病院 心臓血管外科（2023 年 4 月 1 日より）

英文論文名：Modification of pulmonary endarterectomy to prevent neurologic adverse events

※優秀賞受賞者は、受賞の連絡後に辞退の連絡があったため、本年は最優秀賞のみとなった。

Jamieson CTEPH Award 選考委員会

選考委員長

荻野 均（医学研究所北野病院 心臓血管外科（東京医科大学 心臓血管外科））

選考委員（順不同）

江本 憲昭（神戸薬科大学 臨床薬学講座）

松原 広己（国立病院機構岡山医療センター 循環器科）

田邊 信宏（千葉県済生会習志野病院 肺高血圧センター）

2023 年度「学会奨励賞 臨床研究賞」受賞者 3 名

氏名：山崎 誘三

所属：九州大学大学院 医学研究院 臨床放射線科学分野

題目：最新画像診断手法を用いた CTEPH 診断法、評価法の開発

氏名：浅野 遼太郎

所属：国立循環器病研究センター 肺循環科（兼務：血管生理学部）

題目：肺高血圧症患者における右室線維化の非侵襲的検出方法の開発

氏名：夜久 愛

所属：Division of Cardiology, Department of Medicine,

Northwestern University Feinberg School of Medicine, Chicago, USA

題目：慢性炎症による肺動脈性肺高血圧症の病態形成機構の解明

学会奨励賞委員会（臨床研究賞）

選考委員長

安岡 秀剛（藤田医科大学医学部 リウマチ・膠原病内科）

選考委員（順不同）

片岡 雅晴（産業医科大学 第2内科学（循環器内科））

平出 貴裕（慶應義塾大学 循環器内科学）

田中 住明（北里大学医学部 膠原病感染内科）

土橋 浩章（香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科学）

近藤 康博（公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科）

長岡 鉄太郎（順天堂大学医学部 呼吸器内科）

小垣 滋豊（大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科）

高月 晋一（東邦大学医療センター大森病院 小児科）

2023 年度「学会奨励賞 基礎研究賞」受賞者 3 名

氏名：守山 英則

所属：東京歯科大学市川総合病院 循環器内科

題目：肺血管リモデリングを制御する機能性脂質の探索と病態解明

氏名：伊藤 章吾

所属：久留米大学内科学講座 心臓・血管内科部門

題目：補体 C3-D 因子-C3a 受容体のシグナル経路は右室不全における心臓リモデリングを制御する

氏名：正木 豪

所属：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 循環器内科

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 血管生理学部

題目：芳香族炭化水素受容体は肺動脈性肺高血圧症の病態形成の鍵を握る

学会奨励賞委員会（基礎研究賞）

選考委員長

山岸 敬幸（慶應義塾大学医学部小児科）

選考委員（順不同）

鈴木 拓児（千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学）

桑名 正隆（日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー・膠原病内科学）

江本 憲昭（神戸薬科大学 臨床薬学講座）

小垣 滋豊（大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科）

田中 住明（北里大学医学部 膠原病感染内科）

福田 恵一（慶應義塾大学医学部 循環器内科）

室原 豊明（名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学）

渡邊 裕司（浜松医科大学医学部 臨床薬理学講座）

学会賞奨励賞の基礎・臨床の区分は応募者の自己申告に基づいているが、今年は基礎研究なのか臨床研究なのか曖昧な応募書類も存在した。来年度から研究内容が基礎と臨床のどちらになるか一定の判断基準を設けて対応したい。

4. 審議事項

① 評議員・功労会員の規定および名誉会員の新設について（渡邊理事長）

現在、評議員の人数は一定の制限を設けているが、年齢制限は設定されていない為、今後新たな評議員を置くことが困難となる事が懸念される。評議員組織の新陳代謝をはかるために、評議員に年齢制限を設け、学会活動に貢献し定年退任した評議員を功労会員とする。

また新たに名誉会員という称号を設け、65歳で定年退任した本学会理事は名誉会員とし、これまでの功労会員を名誉会員とする。

以下のように第15条を修正する。

会則 第4章 役員

第15条

本会には、次の役員を置く。

理事 20名程度

監事 1～2名

評議員 50 名程度

功労会員 原則として学会活動に貢献し定年退任した評議員

名誉会員 原則として定年退任した本学会理事

なお、功労会員となっても、会費は引き続き納入していただく。

理事会全員一致で、以上の変更が承認された。

②会則（役員の任期）について（渡邊理事長）

第 19 条

「役員（理事長、理事、監事）の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終の理事会終結の時までとする。」となっているが、これを「役員（理事長、理事、監事）の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度の末日までとする。」に変更する。

理事会全員一致で、以上の変更が承認された。

③2024 年度新理事および新理事長の選出について理事長選出の日程について（渡邊理事長）

2024 年 4 月 1 日からの新事業年度では、伊藤浩、荻野均、土井庄三郎、福田恵一、渡邊裕司の 5 名が定年退任する。上記 5 名以外の現理事からは理事継続の意思を確認した。

本年 11 月末までに新理事候補者を推薦いただき、2024 年 3 月末までに新理事を理事会にて決定する。また、2024 年 4 月 1 日から開始する事業年度の理事により新理事長を選出することが同意された。

④2026 年度第 11 回学術集会の会長について（渡邊理事長）

第 1 回会長 佐藤 徹（循環器内科）

第 2 回会長 西村 正治（呼吸器内科）

第 3 回会長 瀧原 圭子（循環器内科）

第 4 回会長 渡邊 裕司（臨床薬理学）

第 5 回会長 荻野 均（心臓血管外科）

第 6 回会長 土井 庄三郎（小児科）

第 7 回会長 桑名 正隆（アレルギー・膠原病内科）

第 8 回会長 江本 憲昭（臨床薬学）

第 9 回会長 福本 義弘（循環器内科）

第 10 回会長 田邊 信宏（呼吸器内科）

土井庄三郎理事より、2026 年度第 11 回学術集会の会長候補者として小垣滋豊理事を推薦いただいた。審議参加者からの異議なく、理事会全員一致で小垣理事の会長就任が認められた。

第 11 回学術集会会長 小垣 滋豊（大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科）

⑤韓国で開催される EASOPH について（瀧原圭子監事）

第 3 回を 7 月 14 日 15 日に韓国肺高血圧学会と同時開催ということで、韓国仁川で久しぶりのオンサイトの開催を予定している。次回北京での開催が定かではないため、今後 EASOPH が続いて行けるかを確認したいと考えている。日本からは 5 名が参加する予定である。
国際交流担当の大郷先生を中心にディスカッションしながら進めている。

⑥PH 定義変更に伴う PH 診断に関するステートメントについて（片岡雅晴理事）

昨年の欧州心臓病学会呼吸器学会で 7 年ぶりの肺高血圧症ガイドラインの改訂をうけ、肺高血圧症の定義が変更された。定義の変更・診断基準について、日本での臨床現場での混乱を避けるために、日本肺高血圧・肺循環学会として、来年春のガイダンス発行を待たず、今年の夏を目途にステートメントとして大事なところをなるべく早めに出すということについて、議論された。

このステートメントは、定義と診断基準に乖離があることを明らかにし認識するための、現時点での注意喚起という位置づけとして考える。

本来なら厚労省の認定基準というかたちで、厚労省で明示を正式にさせていただいた方が混乱を減らせるのではないかという意見もあった。

今回の理事会で議論が行われ、今後 1 か月を目途にパブリックコメントを集め、メールで審議を行うが、ステートメント発出については理事会で了承された。

⑦日本新薬株式会社からの寄附申請について（渡邊理事長）

日本新薬株式会社から寄附の申し出を頂き、本年度は 100 万円であるが、来年以降は用途が明確であれば 300 万ぐらいまでの増額支援が可能であるとのことであった。用途について、会社の希望としては若手の先生方の研究助成、BPA 実施、取得のための国内留学助成等であるが、趣旨は本学会を通じた PH 領域への貢献であるため、最終的には用途は学会に任せるということである。また可能であれば社名を表示することを希望されている。

本年度の 100 万円については国内研修に使うなど用途を早急に決めていきたい。

⑧若手研究者向け臨床研究海外留学支援プログラムの立ち上げについて（田村雄一理事）

NPO 法人 Japan PH Registry 田村雄一理事長より JAPHR と肺高血圧・肺循環学会共同で次世代の肺高血圧症研究を牽引する若手研究者のキャリア形成支援するためのプログラムを立ち上げることを提案された。

学会に寄附いただく場合の会計については税理士に相談し、前向きに準備を進めていくことで了承された。JAPHR からは年間 200 万円（1 年）が拠出（3 年間）される。

本プログラムの趣旨をふまえた選考基準は以下の 3 点を想定

・海外研究機関において肺高血圧症に関連する臨床研究（心エコー・リハビリ・BPA・A I 研究・T R も含む）を実施すること。

- ・留学期間は1年以上であること。
- ・帰国後に JAPHR において臨床研究に携わる（論文執筆や他施設研究の運営）機会を担保するので、そこに携わる意思があること。

特色

留学先が決定していない場合であっても業績と留学中に挙げたい成果に対する意欲をもとに選考し、決定後に JAPHR のスタッフで留学先推薦支援が可能。

留学自体ではなく留学を介した PH 専門のキャリアを支援するプログラムであるため、他の留学奨学金などを受け取ることが可能。

5. その他

本会の業務並びに財産および会計の状況の監査報告（瀧原圭子監事）

4,800 万円の繰越金および年間 600 万円の収入があることから

- 1) 事務局に 2～300 万を当て、学会の基盤を外部委託して事務局機能を強化すべき。
- 2) 学会賞を決める際の謝金（選考費用）を統一すべき。

学会事務局の基盤を外部に委託する必要があることについて、理事長は今後レタープレス社との面談を予定している。

これまで選考費用が支払われていなかった八巻賞選考委員と Jamieson CTEPH award 選考委員にも、学会奨励賞選考委員に支払われている同額の選考費用を、学会資金より支払うこととなった。また、その際は会計処理上、マイナンバーの提出が必要となる。

6. 閉会

以上

日本肺高血圧・肺循環学会

理事長

栗邊 裕司

議事署名人（監査）

瀧原 圭子